

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社学研データサービス

②事業者情報

名称：	新座どろんこ保育園	種別：	保育所
代表者氏名：		定員(利用人数)：	78 名
所在地：	〒352-0012 埼玉県新座市畑中2-17-34	Tel	048-480-3133

③評価実施期間

平成 28 年 11 月 10 日 (契約日) ~平成 29 年 3 月 22 日 (評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

○「子育て支援センター」を中心に地域支援活動を充実させています

当園は、子育て支援センター「ちきんえっぐ」を併設しています。この子育て支援センターを中心に地域支援活動を幅広く実施しています。施設の2階に「支援室」を設け、専従の職員2名を配置しています。具体的な活動としては、「自然食堂」と称して、蒸しパンやお月見団子など毎週クッキングを親子で楽しみます。また、「芸術学校」と称して季節の行事の製作などいろいろな製作をして楽しんでいます。また、親への啓蒙として「寺親屋」(ベビーマッサージや身体測定、子育て講座、育児相談など)を行っています。

さらに、園児たちと地域の親子が青空のもとで紙芝居を見たり、水遊びをしたりする「青空保育」も毎月実施しています。なお、園庭はいつでも利用できるように毎日開放しています。園で行っている誕生会に、地域の方たちへ参加を呼びかけ、記念写真や手形をプレゼントをしています。このように、さまざまな形で地域の子育て中の親子の支援活動を実施しています。

子育て支援センターは、今では毎月300名を超す地域の子育て中親子の参加があります。これらの催し物は「ちきんえっぐだより」という情報紙(その月の予定を載せたカレンダー、活動報告、お知らせなどを写真と共に掲載)を毎月発行して、玄関前に置いたり、市の役所や保健センターなどに置かせてもらって参加を呼びかけています。

充実した地域支援活動に取り組んでいます。

○自然との触れ合いを重視した保育を大切にしています

法人全体の2大保育目標の一つに「センス・オブ・ワンダー」があります。自然の中での発見や生き物の生死などの環境認識を乳幼児のうちから体験できるよう戸外遊びを日常化させることに重点を置き、子どもたちの原体験を大切に考えて行く、という意味合いがこめられています。

具体的には園庭は起伏のある自然な状態を維持し、その中でどろんこ遊びを体験したり、木登りをしたり、はだしで走り回ったりして転ばない強い足を育てます。

ヤギを飼って世話をすることで生き物の生死の瞬間に立ち会い、命の重みを体感します。また、どろんこ農園では年間農業計画を立て、野菜を育て、収穫し、食することで食への大切さを学びます。さらには、新潟県の魚沼市の当法人専用田「みんなの田んぼ」で、田植えや稲刈りを一泊二日の旅行で体験し、収穫したお米は給食で提供されています。

このように、いろいろな機会を通じて自然と触れ合い、あるいは、自然体験を通して子どもたちの経験の輪を広げ、当法人の理念である「にんげん力」を育てています。

**○絵本やおもちゃ、製作材料など子どもたちが主体的にかかわれる環境が整っています**

2～5歳児は1階の広いワンルームで異年齢で過ごしています。低い棚やマット、ござなどを利用して、それぞれの年齢の子どもが居る場所作り、ブロック、絵本、ままごと道具などを置いて、それらで遊ぶコーナーが作られています。また、移動式の製作棚（製作に必要なハサミ、鉛筆、紙、のりなど種々の材料が仕切られた空間に収められていて、子どもたちが自由に取り出して遊べるようになっている）があり、年齢の違う子どもたちが思い思いに製作遊びをしています。このようにコーナー遊びでは自分たちの好きな物を主体的に取り出して、小グループで遊べるようになっています。

2階の0、1歳児室も新年度当初は年齢別に分かれて過ごしますが、0歳児の月齢が上がってきたころから異年齢で過ごすようにしています。0、1歳児室も幾つかのコーナー遊びができるようにマットやござなどをセッティングして工夫しています。コーナーのそばには、絵本やおもちゃが自由に取り出して遊べるようになっています。

このように、どの年齢の子どもたちも、自分たちが興味のある遊びに主体的にかかわれる環境が整えられています。

**◇特にコメントを要する点**

**●3か年の中期計画が作成されていますが、さらなる充実を期待します**

単年度計画は作成されています。そこには基本方針、保育内容の質の向上、保護者支援。地域の子育て支援事業、人材育成など各種計画が綿密に立てられています。また、年度末には、次年度へ向けて各種活動の内容や役割分担も建てられています。単年度計画の末尾には、「3か年計画の具体化」という見出しで文書が作成されています。

その「3か年計画の具体化」には、理念に向けた施設長の思いが込められた文章が記述されています。この3か年の思いを年度別にどのように具現化していくかといった具体的な柱を立てられるとさらに明確になることでしょう。

今後は、全体会議で話し合い、この3か年計画の思いを実現させるための具体的項目を立てて、記述し、実行に移してしていかなることを期待します。

**●不審者侵入対策についてもさらなる取り組みを期待します**

安全対策としては、毎月の避難訓練、事故防止自主点検、設備安全点検、さらには、園内外のハザードマップの作成及び見直しなど積極的に実施しています。そのほか、「非常災害時の対策」として、首都直下型地震を想定した対策について全職員が理解したうえで行動するなど、安全面に関しては周到な対策を立てて実施しています。

ただ、不審者対策に関してはやや課題があります。年2回不審者侵入訓練を実施していますが、今後は全体会議で話し合い、課題についての対策をどのようにしたらよいか話し合っ対策を講じられてははいかがでしょうか。

**⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント**

第三者評価は、日頃取り組んでいる保育内容および運営全般について外部からの視点で気づきを得る非常に有効な取り組みであると認識しています。

ここで明らかになった課題、成果、問題点などを職員及び法人全体で共有し、より一層質の高い保育サービスの実践のためにどんな取り組みが必要か、具体的なアクションにつなげてゆきたいと考えています。

**⑥各評価項目にかかる第三者評価結果**

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり